



審査シート
ジェルコリフォームコンテスト2024

エントリー番号

4 - 3 - 0038 - 0

タイトル

住み慣れたマンションを終の棲家に

応募部門：下記よりひとつを選んで◎を入れてください

- | | | |
|-----------------------------|-------------------------------|--|
| <input type="radio"/> 戸建て全面 | <input type="radio"/> マンション全面 | <input checked="" type="radio"/> リビングダイニング |
| <input type="radio"/> キッチン | <input type="radio"/> サニタリー | <input type="radio"/> 個室 |
| <input type="radio"/> 外まわり | <input type="radio"/> 玄関・ホール | <input type="radio"/> |

基本情報

邸名 名古屋市Y様邸 築年数 29 年 構造 RC 造 5 階建

該当部分工事費 700 万円 総工事費 1,800 万円 建築確認申請の有無 有 無

増築面積 0 m² 減築面積 0 m² 居住者構成 15歳未満 人 15歳以上65歳未満 人 2 人

改装面積 95.5 m² ※増築・減築の面積を除く 65歳以上 人 ベット 人

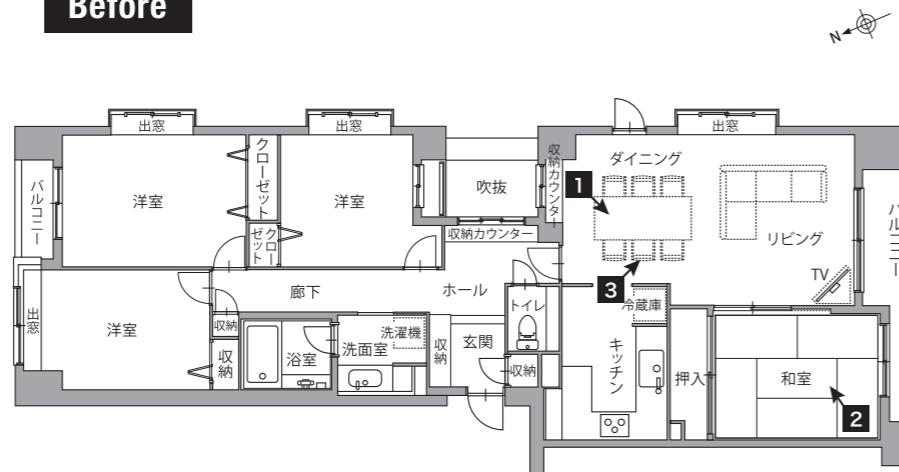
建物の履歴（自宅、中古購入、空き家活用などの情報） 施主の居宅 20 年居住 空き家または中古住宅の活用

所在地 都道府県 愛知県 市町村 名古屋市 完成年月日 2023年9月14日

施主様ご要望：リフォームの動機(140字以内で)

リフォーム前の平面図

Before



築28年のマンションにお住まいのY様。ここで育ったお二人の娘さんは既に巣立たれ、今はご夫婦のみの生活に。マンションご購入から約20年が経ち、設備や内装などの老朽化が進んでいた。そこで住み慣れたマンションをご夫婦の「終の棲家」にするためのリフォーム計画がスタートした。

プラン決定のポイントと工夫(140字以内で)
設計・施工の工夫点、住宅価値を向上させた内容など

- どこからでもLDK全体を見渡せる開放的な空間の実現
- 夫婦がお互いの気配を感じながらも、適度な距離感を保てるゾーニング
- 窓の多い角部屋のLDKにTV用のアクセント壁を作成し、リビングゾーンの明確化に成功
- パントリーや物干しスペースなど家事効率を向上させる仕掛けづくり

施主様ご感想：満足度など(140字以内で)

とにかくLDKが広々として気に入りました。随所に女性プランナーならではの視点が反映され、暮らしやすく素敵な住まいができました。大満足です。

性能向上の特性（複数選択可）

- | | | |
|-------------------------------|---|--|
| <input type="checkbox"/> 劣化対策 | <input type="checkbox"/> 耐震性 | <input checked="" type="checkbox"/> 維持管理 |
| <input type="checkbox"/> 可変性 | <input checked="" type="checkbox"/> 省エネ | <input checked="" type="checkbox"/> バリアフリー |

選択した性能向上の特性で特に配慮した点(50字以内で)

- 省エネ効果の高いLED照明の採用
- 和室をなくし室内段差を解消
- 輻射熱で効率のよい床暖房の導入

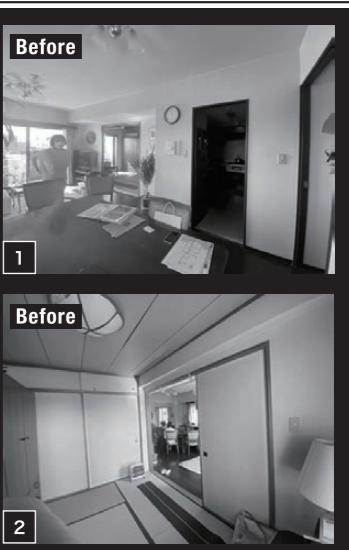
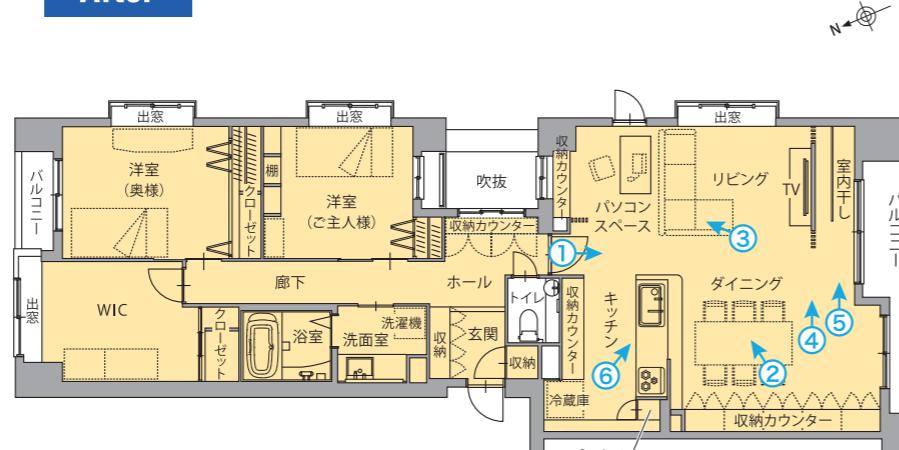
性能向上で、準拠・参考にした数値（性能表示の等級など）

(※わかれは改修前の性能数値と改修後の性能数値を記入)

バリアフリー新法に準拠(室内段差20mm未満)

リフォーム後の平面図

After



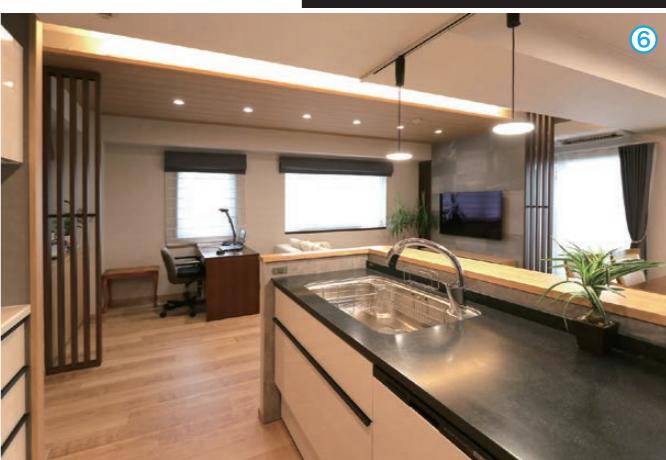
① ② 以前の和室は使われることなく、ご夫婦の主な居場所はダイニングテーブルだった。ちょうど今回のリフォームを前にご主人が定年退職され、ご夫婦二人で家にいる時間が増えることに。テーブルで向き合うばかりではなく、それぞれに寛ぎの空間が欲しいというY様のご希望だった。

そこで利用頻度の低い和室をなくし、LDKを大幅に拡張。壁で仕切るのではなく、ゆるやかにゾーニングを行った。



③ もともと窓が多い角部屋のY様邸。更に部屋の隔たりを廃して大空間LDKとしたため、テレビの設置位置に工夫が必要となった。

新たにLDKのアクセントとなる壁を作成してテレビを設置。LDK各所からTVが楽しめる配置としました。この壁は夏の強い照り返しの遮蔽効果もある。



以前は和室の鶴居を使っていた室内干し。今回のリフォームでアクセント壁の裏側に「部屋干しスペース」を設置。来客時に目線を遮るシェードも備えた。ひとつの壁がいくつもの役割を果たしている。

キッチンを隔てていた壁をなくし開放感のある対面キッチンに。見晴らしが良く、奥様はここで料理しながらテレビを楽しむことができる。